

## 【高等部の学習の様子②⑤】

作業学習の紙すき班では、地域のネギ農家の鎌田さんから、紙すき班の紙を使い、商品（ネギ）を宣伝するラベルを作って欲しい依頼がありました。

教科等の枠を越えて育む資質・能力として、本校では「地域力」を掲げています。鎌田さんからの依頼について、生徒が「ぜひ、やりたい。」と意欲をもって地域と協力して取り組める場面を設定しました。

また、各教科等を合わせた指導の枠の中で、ラベル作りについては「情報科」の内容で取扱い、商品売るための情報デザインについて学びました。実際のラベルを作った後に、さらに鎌田さんからの要望に応じて、デザインを検討するなど、情報デザインの効果的な考え方に基づいて表現し、基礎的な技能を効果的に学び、ラベルを完成することができました。



12月14日（水）には、鎌田さんに完成したラベルを納品し、何度も「すごい、ありがとう。」という嬉しいお言葉をいただきました。また、「みんなで、正月、これを（ネギを）いっぱい売れるように、頑張りますので、もし、追加ありましたらよろしくお願いします。」と、さらに嬉しいお言葉もいただきました。

翌日には、鎌田さんとラベル作りを通じた経験を「特別の教科道徳」の題材として取扱い、具体的な経験を振り返り、“C 社会参画・公共の精神”を学びました。自分たちが作ったラベルが、鎌田さんの喜びだけでなく、その先のお客さんにもつながっていることを実感し、生徒からも「店に並ぶまでの物をみんなと協力してお客さんなどが嬉しくなることを考えて働いていきたいです。」等の表現が見られるなど、自分たちも社会の一翼を担っているという「社会参加の意識」を高めることができました。



この単元を通して、効果的に国語科、職業科、情報科、社会科、道徳科等を具体的な場面を通じて、学ぶことができました。地域の人と協力して取り組んでいくこと、地域に貢献していくことの面白さ、大切さを実感し、学ぶこともできました！！

今後も、生徒たちが「地域」と連携しながら、自立と社会参加の力を育てていけるようにしたいと思います。